

特別寄稿： 「羽倉文庫」について

立命館大学 北岡明佳

私の現在の所属は、2016 年 4 月に設置された立命館大学総合心理学部で、所在地は大阪府茨木市である。太陽の塔が近い。教員研究室には、自称「羽倉文庫」がある。3D フォーラムおよび 3D 映像創設者の一人である故羽倉弘之氏の名前を冠した書棚である。羽倉文庫は錯視とだまし絵の文庫である。羽倉さんは自身では錯視やだまし絵は作られず、もっぱらそれらの分野の盛り上げ役に徹しておられたと、私は理解している。つまり、羽倉文庫は羽倉さんの著作物一式というわけではない。いろいろな著者による錯視とだまし絵の書籍の集合である。私が刊行した本も含まれる。ひいきにして頂いて、ありがたいことである。要するに、羽倉さんの蔵書だったわけだ。

私は羽倉さんの親戚ではないので、形見分けで頂いたものではない。ある時、羽倉さんから「もらって欲しい」と言われたので、頂いたのである。受け取ったのは段ボール箱 3 つだったと思う。私は非常に勘が悪いので、その真意を理解できなかった。羽倉さんが亡くなって、初めて理解できた。羽倉さんは 3D の蔵書ももらって欲しかったのだが、私はいらなかったなので、錯視とだまし絵の書籍だけ頂いた。申し訳ないことをした。

